

特集Ⅱ 創刊20周年

『生徒とともに』31号から40号のまとめ

一五周年記念特集号(三〇号)で、創刊から三〇号までのまとめをしました。

それで、今号では、その後の五年間(三十一号から四〇号)についてまとめることとしました。

創刊から数えますと、巻頭文執筆者は、延べ三九人の方々にお世話になりました。

社会の現場からは、延べ六〇人の方々にご投稿していただきました。三四号までは、「社会の現場から教育に期待すること」を提言していただきました。三五号からは、必ずしも、教育問題に限定せず、社会の現場で働いている方々の「仕事へのこだわり」「子育て」などについて自由に書いていただきました。

1. 巻頭文執筆者
2. 社会人寄稿者
3. 表紙
4. 特集(創刊〜四〇号)
5. 歴代編集委員と担当号数

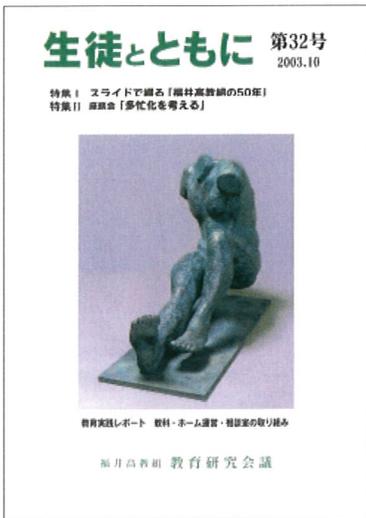
1. 巻頭文執筆者 (31号~40号)

巻頭文は、主に福井大学の先生方をお願いしてきました。

| 号数 | 執筆者 | 所 属 | テ ー マ |
|-----|-------|--------------------------|-----------------------------------|
| 31号 | 寺岡 英男 | 福井大学教育地域科学部 教授 | 学区制再編を通して今の教育をめぐる問題を考える |
| 32号 | 小倉 久和 | 福井大学工学部 教授 | 「基礎」と「専門」～法人化を控えて大学の教育と研究について考える～ |
| 33号 | 松木 健一 | 福井大学教育地域科学部 | 教員養成と「特色ある大学教育支援プログラム」 |
| 34号 | 山川 修 | 福井県立大学情報センター | メディアリテラシー ～インターネット時代の基礎能力～ |
| 35号 | 松浦 義則 | 福井大学教育地域科学部 教授 | 戦争の歴史をふり返って |
| 36号 | 大久保 貢 | 福井大学アドミッションセンター | AO入試入学生の学業成績・大学生活 |
| 37号 | 本多 昭一 | 福井大学シニアフェロー | あらためて倫理教育を考える |
| 38号 | 鈴木 敏男 | 福井大学大学院 工学研究科長・工学部長 | 今の工学部教育 |
| 39号 | 鈴木 孝典 | 福井高教組教文部長 | 教育再生会議の「提言」で学校はよくなるのか |
| 40号 | 小野田信春 | 福井大学大学院 工学研究科物理学専攻・教授 | 法人化後の福井大学 |

2. 社会人寄稿者（31号～40号）

| 号数 | 執筆者 | 所 属 | テ ー マ |
|-----|-------|-----------------------------|-------------------------------|
| 31号 | 川畑 正二 | 作家 | 祖国を離れたイスラム教徒 |
| | 柳瀬 和之 | 陶芸家 | 陶芸の道と学校教育 |
| 32号 | 藤本 正子 | 光陽生協病院小児科医師 | 小児心身症外来より |
| | 山岸 昭則 | 福井大学非常勤講師 | 創造と競争のはざままで ～常に必要な学力の問い直し～ |
| 33号 | 楽々 珍 | 自営業 | インターネット教育相談室に参加して |
| | 浦谷奈保美 | 主婦・折り紙講師 | オバサン学校へ行く |
| 34号 | 坂本 均 | 自然環境教育事務所代表 | 拝啓・教育の最前線におられる皆様方へ |
| | 吉村 信 | 医師 | 日本と中国の幼児教育 |
| | 浅田 幸子 | 主婦 | 童話『サザンカ』 |
| 35号 | 白崎 昌夫 | 元高校教師 | カオス |
| | 安岡 恵子 | 福井チャイルドライン元室長 | 聴こえますか?子どもの声が… 感じますか子どもの心… |
| | 飯田 貴彦 | ジュエリーデザイナー | ジュエリーデザイナーという仕事を通して |
| 36号 | 坂野 進一 | 社団法人福井県眼鏡協会専務理事 | 眼鏡産業一〇〇年の歩み |
| | 早川 将樹 | カフェ経営者 | 私のこだわり |
| 37号 | 玉木 洋 | 福井県経済同友会・ 福井県経営品質協議会代表幹事 | 目的志向の組織経営は、企業も学校も同じ |
| | 川端 幸代 | ハスの実わくわくセンター施設長 | 「障害者自立支援法」について |
| 38号 | 鈴木 広江 | 光陽生協病院 | 医療の現場から |
| | 小川 忍 | 福井テレビ取締役 | 恩師は人生の『羅針盤』 |
| | 屋敷 紘美 | 九条の会・ふくい | 日本国憲法第九条は僕らにとって何だったのか |
| 39号 | 酒井 暁生 | 整体師&光のカメラマン | 私の体験と変容 |
| | 三津野真澄 | 石川県立大聖寺高校 | SEP聖高エコプロジェクト |
| | 佐藤 収一 | ふくい「非行」と向き合う親たちの会 | いじめ問題を考える |
| 40号 | 前川 眞紀 | (有)ピアンモア・専務 | ファッションへの想い |
| | 北川 昭二 | 小浜・九条の会事務局長 | ドキュメンタリー映画 『蟻の兵隊』上映への取り組み |
| | 山道 千草 | 陶芸家 | 福井県立盲学校の美術の時間 |

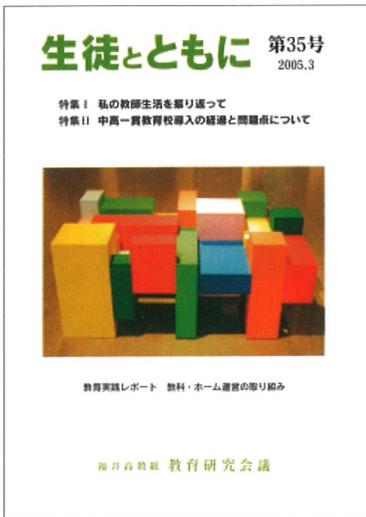
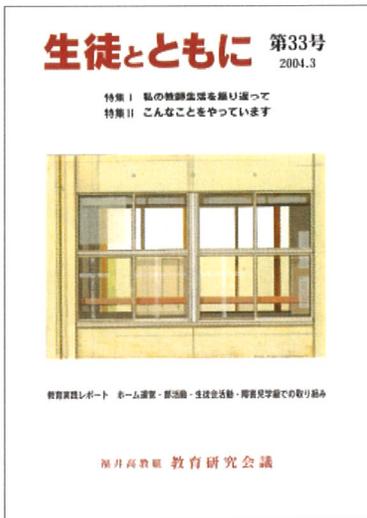


32号 2003.10
反 保 千佳子

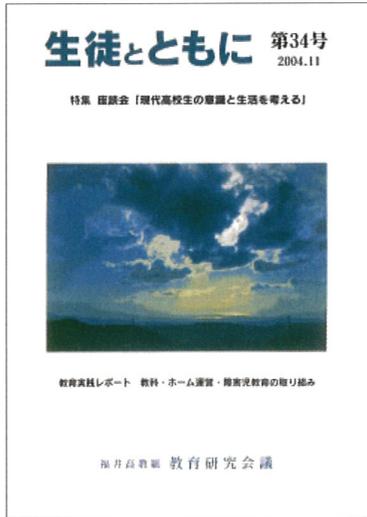
3.
「表紙の絵」と作者



31号 2003.3
奥 村 慶 民



35号 2005.3
相 馬 理 恵



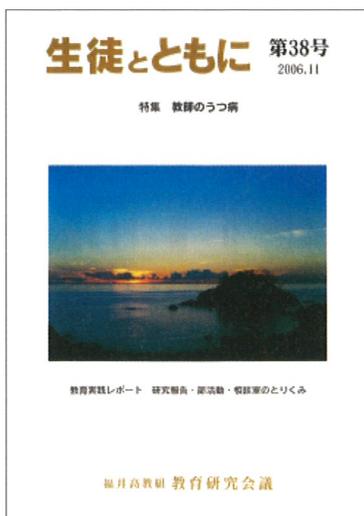
34号 2004.11
織 田 祐 宏



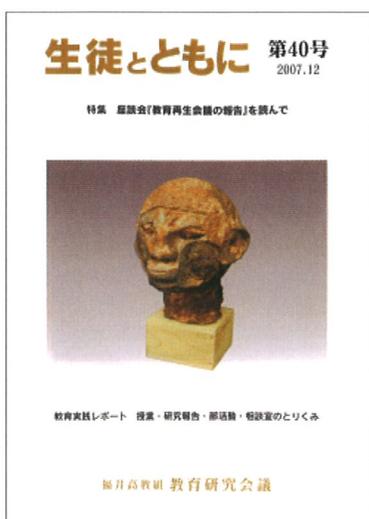
37号 2006.3
山田幸代



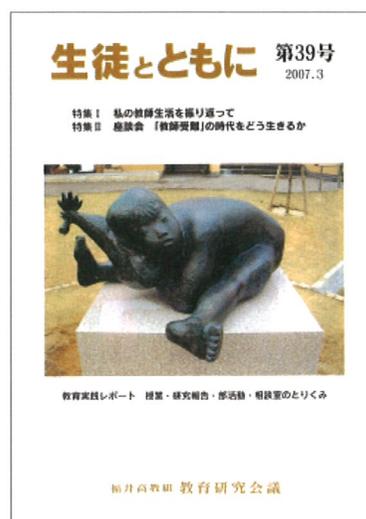
36号 2005.11
伊藤裕貴



38号 2006.11
織田慶史



40号 2007.12
田中正浩



39号 2007.3
池田雅彦

4. 特集一覧(三号〜四〇号)

一五周年記念誌では、このまとめがありませんでしたので、特集をまとめました。特集は三号から始まっています。

- | | | | | |
|------------|---------------------------|------|------------------------|---------------------------|
| 一九八八・九 特別号 | 『福井の高校教育を考える』 | 一三三号 | 高教組教研特集 | にいま何が必要か |
| 三号 | 障害児教育 | 一四四号 | 座談会『若者たち 大いに語る』 | 定年退職を前に・私の思い |
| 四号 | 生徒指導を考える | 一五〇号 | 座談会『新学力観をどう見たらいいのだろうか』 | 高校入試・全県一学区制の問題点を考える |
| 五号 | 文化祭・体育祭を考える | 一六〇号 | 職業教育の復権 | 座談会「障害児学校の子ども達の休日の過ごし方」 |
| 六号 | 普通高校の現場から | 一七〇号 | 大学入試改革 | 『生徒とともに』これまでどこから |
| 七号 | 進学体制に関するアンケート調査とその結果について | 一八〇号 | 私の高校教育改革ビジョン | スライドで綴る『福井高教組の五〇年』 |
| 八号 | 座談会『大学生・高校生・受験体制を語る』(その一) | 一九〇号 | 学級担任の泣き笑い(その一) | 座談会『多忙化を考える』 |
| 九号 | 座談会『大学生・高校生・受験体制を語る』(その二) | 二〇〇号 | 学級担任の泣き笑い(その二) | 座談会『現代高校生の意識と生活を考える』 |
| 一〇号 | 座談会『ホーム運営の悩みを語る』 | 二一〇号 | 学級担任の泣き笑い(その三) | 中高一貫教育校導入の経過と問題点について |
| 一一号 | 座談会『障害児教育のいまの大事なこと』 | 二二〇号 | 座談会『本県の大学進学指導を考える』 | 私の教師生活を振り返って |
| 一二号 | 福井の高校教育の今日的課題について(その一) | 二三〇号 | 高校生が求める学校と教師は? | 座談会『高校生の学力全国一〇位以内の実現』を考える |
| 一三号 | 福井の高校教育の今日的課題について(その二) | 二四〇号 | 学校再編と私たちのめざすもの | 私の教師生活を振り返って |
| 一四号 | 福井の高校教育の今日的課題について(その三) | 二五〇号 | 福井の高校教育に期待するもの | 私の教師生活を振り返って |
| 一五号 | 福井の高校教育の今日的課題について(その四) | 二六〇号 | いま高校教師に求めるもの | 私の教師生活を振り返って |
| 一六号 | 座談会『障害児教育のいまの大事なこと』 | 二七〇号 | 福井の中学校教育の現状 | 教師のうつ病 |
| 一七号 | 座談会『障害児教育のいまの大事なこと』 | 二八〇号 | 座談会 本音で語ろう『福井の中学・高校教育』 | 座談会『教師のうつ病について考える』 |
| 一八号 | 座談会『障害児教育のいまの大事なこと』 | 二九〇号 | 障害児学校卒業生の生活を豊かに | メンタルヘルスの悪化が英語科教師に与える影響 |
| 一九号 | 紙上討論「学力」の維持・向上 | | | |

三九号 座談会『教師受難』の時代をどう生きるか

私の教師生活を振り返って

四〇号 座談会『教育再生会議の報告』を読んで

高教組以外

町原 郷子 二六号～三一号

長谷川健二 二六号～四〇号

5. 歴代編集委員と担当号数

この五年間は、組合員七名、高教組以外一名、執行部一名、教育研究会議一名の計一〇名の編集委員で担当してきました。

| | |
|-------|---------|
| 上前 三博 | 二一号～四〇号 |
| 酒井 武裕 | 二八号～四〇号 |
| 西本 洋一 | 二八号～三九号 |
| 森長 淑子 | 三二号～四〇号 |
| 山田 泰久 | 二六号～三三号 |
| 薬師 千春 | 三二号～四〇号 |
| 吉川 知秋 | 二四号～三三号 |
| 横道 広樹 | 二四号～三五号 |
| 田中 浩司 | 二六号～三一号 |
| 堀部 昌宏 | 三四号～四〇号 |
| 鈴木 俊邦 | 三四号～三五号 |
| 相澤 聡明 | 三六号～四〇号 |
| 吉田 英史 | 三六号～四〇号 |
| 玉澤 良崇 | 四〇号～四〇号 |



光のカメラマン 酒井 曉 生